

巻頭特集 世界と共創し、国益を守る －世界のパートナーとの連携－

第10回 太平洋・島サミット	004
アフリカ開発会議 (TICAD) 閣僚会合	008
第8回 日・カリコム外相会合	011

第1章 国際情勢認識と日本外交の展望

1 情勢認識	014
2 日本外交の展望	017

第2章 地域別に見た外交

第1節 法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」の推進	024
1 総論	024
2 新プランの下での具体的な取組例	025
3 各国との連携・協力	026
第2節 アジア・大洋州	030
1 概観	030
2 中国・モンゴルなど	034
3 朝鮮半島	048
4 東南アジア	061
特集 日米比協力と今後の可能性－自由で開かれたインド太平洋を目指して－	067
コラム 日・ブルネイ外交関係開設40周年を迎えて－戦略的パートナーシップが見据える未来－	068
5 南アジア	069
6 大洋州	072
コラム 日・パラオ外交関係樹立30周年	079
7 地域協力・地域間協力	080
第3節 北米	087
1 概観	087
2 米国	088
コラム パレードの街ニューヨークの新たな伝統－ジャパン・パレード－	098
コラム マウイ島火災支援	099
3 カナダ	100

第4節 中南米	104
1 概観	104
2 地域機構	105
コラム 日・カリブ交流年2024	107
3 中南米各国	108
コラム 中南米イヤーにおいて日本と中南米が示した「道のり」という通奏低音	111
コラム 友好の絆 ―日・ボリビア外交関係樹立110周年及び日本人のボリビア移住125周年―	115
第5節 欧州	116
1 概観	116
2 欧州地域情勢	117
コラム 変貌するEUと日・EU安全保障パートナーシップの推進	126
コラム 欧州の中心に位置する日本のパートナー ―日本とアルザスの交流160年の歩みとこれから―	127
3 地域機関などとの協力	128
コラム ルーマニアにおける日本のウクライナ避難民支援 ―日本大使館は支援の架け橋―	131
コラム 天皇皇后両陛下の英国御訪問	137
コラム 日・ギリシャ外交関係樹立125周年 ―「海」でつながる戦略的パートナー―	138
第6節 ロシア・ベラルーシと中央アジア・コーカサス	139
1 概観	139
2 ロシア・ベラルーシ	140
3 中央アジア・コーカサス諸国	144
第7節 中東と北アフリカ	148
1 概観	148
2 中東地域情勢	149
コラム 日・トルコ外交関係樹立100周年	159
3 北アフリカ地域情勢(エジプト、リビア、チュニジア、アルジェリア、モロッコ)	160
コラム 日本とアラブ連盟の協力	163
第8節 アフリカ	165
1 概観	165
2 アフリカ連合(AU)	166
3 東部アフリカ地域	167
4 南部アフリカ地域	170
コラム 日・ザンビア外交関係樹立60周年	172
5 中部アフリカ地域	173
6 西部アフリカ地域	175

第3章 国益と世界全体の利益を増進する外交

第1節 日本と国際社会の平和と安定に向けた取組	180
1 安全保障に関する取組	180
2 日米安全保障(安保)体制	181
コラム 日米の未来に種を蒔く ―英語を通じた日米交流事業(SEED/TOFU)―	186
3 グローバルな安全保障	188
地域安全保障(p.188)、経済安全保障(p.191)、サイバー(p.195)、 国際的な海洋秩序の維持・発展(p.196)、宇宙(p.201)、平和維持・平和構築(p.204)、 治安上の脅威に対する取組(p.207)	
特集 現代の海賊対策と日本の貢献	202
コラム 日本の資金援助を通じたギニアビサウでの平和維持活動	208
4 軍縮・不拡散・原子力の平和的利用	211
特集 核軍縮・不拡散に関する安保理閣僚級会合の開催と 「核兵器用核分裂性物質生産禁止条約(FMCT) フレンズ」の立ち上げ	217
5 国際連合(国連)における取組	226
特集 国連安保理北朝鮮制裁委員会専門家パネルが果たしてきた役割	229
6 国際社会における法の支配	233
特集 パレスチナ占領地に関する国際司法裁判所(ICJ) 勧告的意見手続における 口頭陳述への出席	234
7 人権	238
8 ジェンダー平等・女性のエンパワーメント	240
第2節 日本の国際協力(開発協力と地球規模課題への取組)	244
1 開発協力	244
開発協力大綱と日本のODA実績(p.244)、2024年の開発協力(p.245)、主な地域への取組(p.247)、 適正かつ効果的なODA実施のための取組(p.253)	
特集 国際協力70周年と新しいODA	254
2 地球規模課題への取組	255
持続可能な開発のための2030アジェンダ(p.255)、国際保健(p.258)、労働・雇用(p.259)、 環境・気候変動(p.259)、北極・南極(p.264)	
3 科学技術外交	265

第3節 経済外交	267
1 経済外交の概観	267
2 自由で公正な経済秩序を広げるための取組	268
経済連携の推進 (p.268)、国際機関における取組 (p.274)、知的財産の保護 (p.276)	
コラム 国際会議と二国間会談 – OECD閣僚理事会の裏側で–	277
3 国際会議における議論の主導	278
G7 (p.278)、G20 (p.280)、アジア太平洋経済協力 (APEC) (p.281)	
4 日本企業の海外展開支援 (日本の農林水産物・日本産食品の輸出促進を含む。)	282
外務本省・在外公館が一体となった日本企業の海外展開の推進 (p.282)、	
インフラシステムの海外展開の推進 (p.282)、	
日本の農林水産物・食品の輸出促進 (東日本大震災後の日本産食品に対する輸入規制撤廃) (p.283)	
特集 経済広域担当官の指名	284
5 資源外交と対日直接投資の促進	285
エネルギー・鉱物資源の安定的かつ安価な供給の確保 (p.285)、食料安全保障の確保 (p.288)、	
漁業 (マグロ・捕鯨など) (p.289)、対日直接投資 (p.290)、	
2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)、2027年国際園芸博覧会 (GREEN × EXPO 2027) 開催に	
向けた取組 (p.290)	
特集 対日直接投資推進に向けたFDIタスクフォースの設置	292
第4節 日本への理解と信頼の促進に向けた取組	293
1 戦略的な対外発信	293
偽情報対策を含む情報戦への対応 (p.293)、戦略的対外発信の取組 (p.293)、	
ジャパン・ハウス (p.295)、諸外国における日本についての論調と海外メディアへの発信 (p.295)、	
インターネットを通じた情報発信 (p.296)	
2 文化・スポーツ・観光	296
概要 (p.296)、文化事業 (p.297)、人物交流や教育・スポーツ分野での交流 (p.299)、	
知的分野の交流 (p.302)、日本語普及 (p.304)、文化無償資金協力 (p.304)、	
国連教育科学文化機関 (UNESCO：ユネスコ) を通じた協力 (p.304)	
コラム スポーツ外交推進事業による国際交流	301
コラム アジアの共鳴を、未来の息吹に	
–「次世代共創パートナーシップ –文化のWA2.0–」の開始–	305

第4章 国民と共にある外交

第1節 世界とのつながりを深める日本社会と日本人	310
1 日本の成長と外国人材の受入れ	310
2 国際社会で活躍する日本人	311
コラム JPO派遣開始50周年	312
特集 NGO成長の縁の下での力持ち：NGO相談員制度25周年	316
コラム ソロモン諸島の教壇に立ってみて私が感じたこと	317
コラム 50年を超えてつながるマラウイとJICA海外協力隊の強い絆 ^{きずな}	318
3 地方自治体などとの連携	319
第2節 海外における日本人への支援	323
1 海外における危険と日本人の安全	323
2 領事サービスと日本人の生活・活動支援	326
3 海外移住者や日系人との協力	329
4 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約（ハーグ条約）の実施状況	330
コラム NO準備, NO海外 –海外で身を守るために–	331
コラム 旅券（パスポート）の偽変造対策と利便性向上 –新しいパスポートと、一つ先の未来へ–	332
第3節 国民の支持を得て進める外交	333
1 国民への積極的な情報発信	333
コラム 「学生と語る」 –外交政策をユースと議論–	336
コラム 外交の歩みを追体験 –麻布台ヒルズでの外交史料館の挑戦と展望–	338
2 外交実施体制の強化	339
3 外交におけるシンクタンク・有識者などの役割	342
コラム 公邸料理人 –外交の最前線の担い手として–	343
コラム 外交拠点・大使館施設管理の動と静 –施設の大規模改修と維持管理–	345

資料編

慰安婦問題 参考資料	348
旧朝鮮半島出身労働者問題 参考資料	350
国際機関などに対する抛出実績 令和5年度外務省抛出実績	352
グローバルな課題の解決に向けて ―国際機関で働くという選択肢―	354
外務省における採用情報	356
地方創生支援事業一覧	358
国際社会及び日本の主な動き	360
要人往来	369
用語索引	398

